

～旧下田中学校・旧中医学研究所の有効活用方針～

1 検討会の最終案

第5回旧下田中学校・旧中医学研究所有効活用検討会（以下「検討会」という。）において、両施設の有効活用に関し、検討会の最終意見を下記2案にとりまとめた。

- (1) 子どもの安全第一を大前提として、迅速に子どもの安全を守れる手段をとること
 - ・ 下田保育所及び下田小学校の高台移転

- (2) 子育てという一つの方針の中で、複合的な施設がしっかり機能すること
 - ・ 子育て複合施設（屋内遊園地、産後ケア施設等）

また、フレイル予防や産業振興の事業を同時に進めていくと無理が生じることも考えられるため、まずは子どもの安全、次に子育て、それからフレイル予防、産業、コミュニティと位置づけ、時間をかけながら事業の具体性を見出す中で、具体化が難しい事業については、今回の施設の有効活用の中では出来ないものと整理。

これらの整備にあたっては様々な課題があり、それらの調整が必要となるため、検討会としては、大枠としての方向性を定めるに留め、保育所の設置場所等も含め整備内容等の詳細については市において判断する。

2 政策会議の開催

第5回検討会において示された検討会の最終意見を踏まえ、5月2日に政策会議を開催し、市の政策方針について協議を行った。

（意見等）

- ・ 下田保育所及び下田小学校の高台移転については、検討会での意見のとおり、児童の安全確保及び遊休施設の有効活用という観点などから、旧下田中学校校舎への合築が望ましい。
- ・ 子育て複合施設について、屋内遊園地は具体的な事業構想があるが、その他の施設については、市民ニーズなど施設利用者の見込みが不透明である。
- ・ 産後ケア施設については、令和6年度から市内の民間事業者において産後ケアの通所型及び・宿泊型のサービスが開始されることを踏まえると、別途市において緊急に整備する必要性は低い。
- ・ 旧中医学研究所で屋内遊園地に使用しないスペースについては、無理に施設を整備せず、今後の様々な市民ニーズを判断しながら、利活用の方向性を検討していくのが望ましい。
- ・ 施設整備のスケジュールは、特殊な施設であり実施設計等に長期の期間を要する可能性がある。今後、担当課及び建築担当において協議・調整を行っていく。

3 市の有効活用方針

上記2の政策会議での意見等を踏まえ、下記を市の有効活用方針とした。

(1) 旧下田中学校校舎の有効活用

- ・ **下田保育所及び下田小学校（高台移転）**

下田保育所及び下田小学校を旧下田中学校校舎に高台移転し、合築施設として整備する。

(2) 旧中医学研究所の有効活用

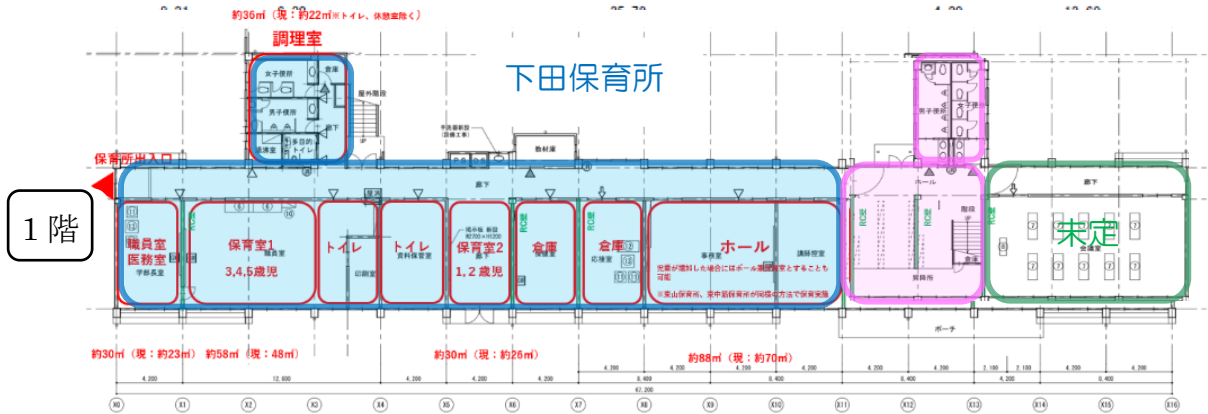
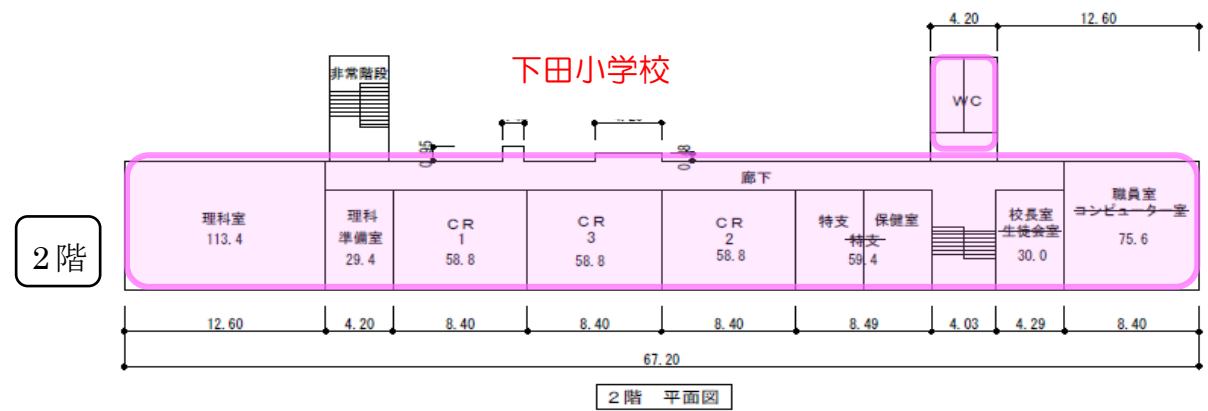
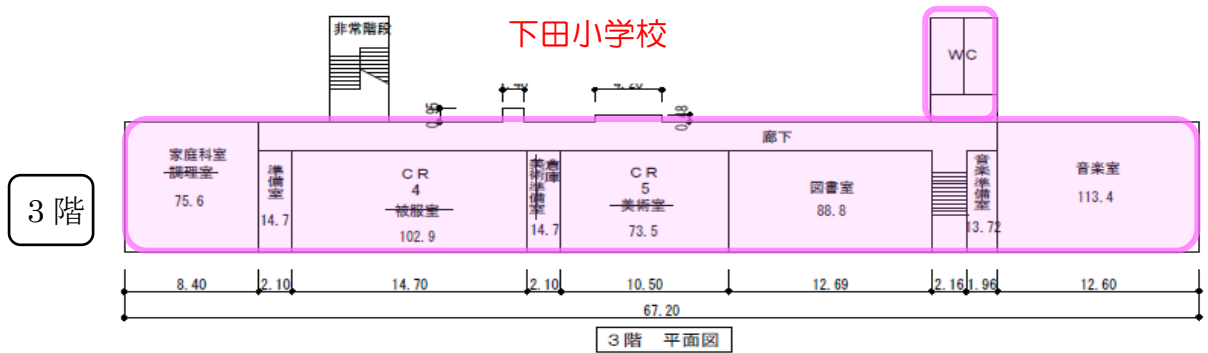
- ・ **子育て交流施設（屋内遊園地）**

旧中医学研究所の1階を中心に、全天候型遊び場である「屋内遊園地」を整備する。

2階スペースは、汎用性をもたせた施設として位置づけ、今後産後ケア施設や地域交流施設など様々な市民ニーズ等を判断しながら多方面への活用を検討していく。

5 施設整備イメージ（現時点）

1 旧下田中学校校舎



2 旧中医学研究所

